

名古屋NGOセンター・TPP勉強会企画

地域自立に向けた暮らしを考える

【午前の部】

◆はじめに

◎本日のねらいの確認

・「自立」をキーワードとして、今後互いが学び合える講座のカリキュラムを考える

→また、この取り組みが「食、エネルギー、水、カネ、支え合いが地域で循環し、循環を構成するそれぞれが生業となる社会」を目標とするところを確認。

◆それぞれが考える自立

◎自立についてのブレインストーミング

・自己紹介

社会の状況をここで「個人や世帯間、地域間、国家間の格差や環境負荷が増大していく社会」と捉えたとなると、それについてどう考えるか？4つのグループ内で自己紹介

・自立から想像する言葉をテーマに全体でブレインストーミング

◆自立とわたし

◎自立のブレインストーミング内容と自分との関係ブレインストーミング内容と自身を照らし合わせる

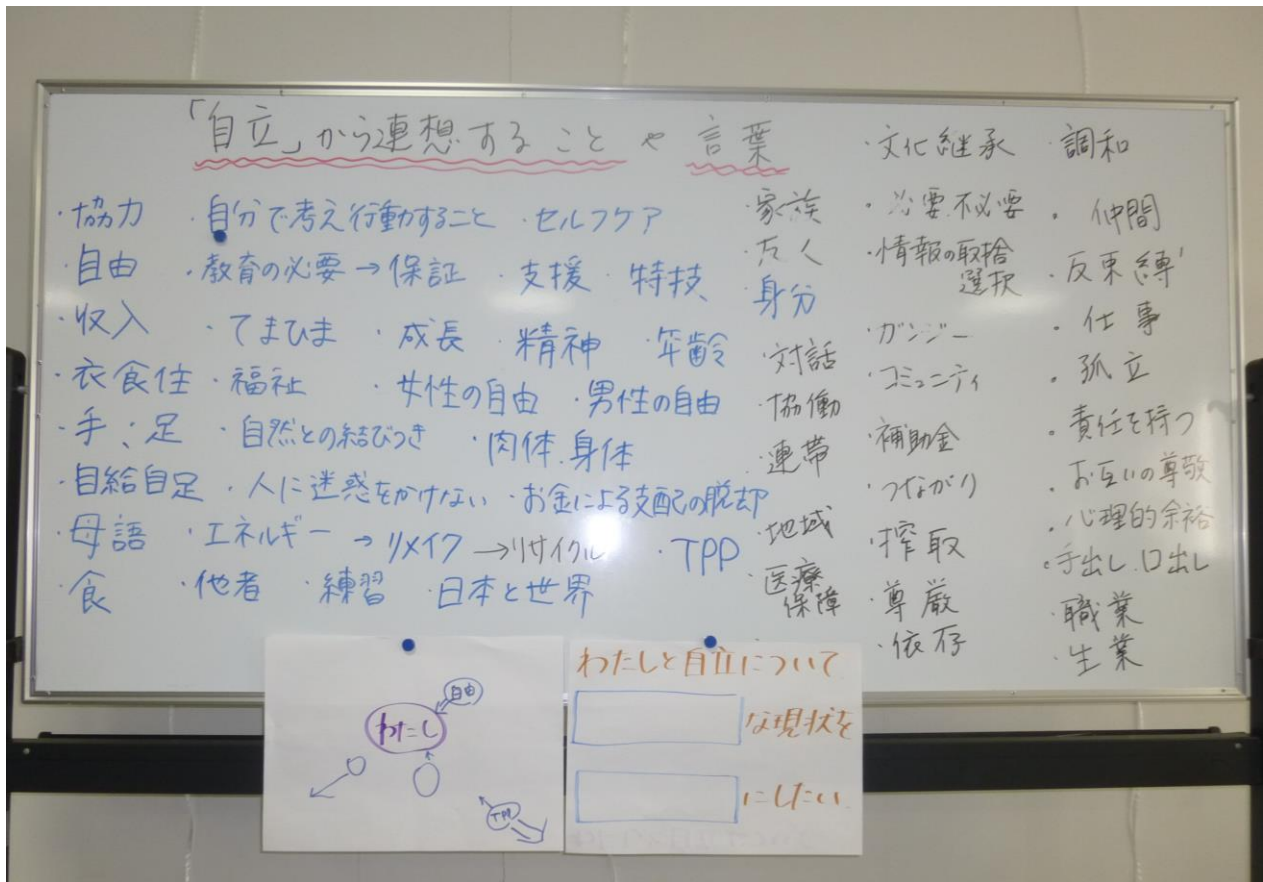
・A3用紙の真ん中に「わたし」と書いて丸で囲み、ブレインストーミングで出された文言のそれぞれが「わたし」とのどんな位置関係にあるか用紙に書き込んで「自立マップ」を作る

・さらに書き込んだそれぞれの言葉について自分は今後どうしたいか、遠ざけたいのか近づきたいのか、矢印を書き込み、想いの強さを矢印の太さで表現する

・出来上がったマップを見て、自分の自立度と自立への願いを別紙の文章の空欄を埋める形で表す。

・書き上げた内容をグループ内で発表し、その後、全体に共有しておきたいことがあれば、それだけを発表。

「自立から連想すること」ブレイクストーミング～「自立とわたし」を考える



【自立についての感想 全体で共有したこと】

- 「自立」という言葉に対し違和感もある。「自立＝自己責任」で片付けられる場合があることを注意しておくことが大切。
- 精神的な自給自足ができるようになるといい。(単純に畑を耕すだけでなく、心の豊かさに通じているという意味)
- 自立は孤立？という点では、他者とのバランス。自ら積極的な気持ちでいることがあらわされている。
- 自分のマップは、「信頼世界」と「暴力世界」とに分けた。自然との結びつきが大切、人とのつながり、手づくりのものが大切と思った。
- 情報の取捨選択を考えるべきとき。一斉にみんながどこかへなびくのはおかしい。情報から自立していなくて、情報に依存している現状だと感じる。
- いっぱい自立関連ワードを書いたが、一つ選ぶとなると広義の意味で「仕事」を選ぶ。ほか「練習」「つながり」「衣食住」。
- 日本が国連という機関とどう接しているか？不十分だと思うが、主張や話し合いが出来ない訳でなく、日本型のやり方があるはず、ということも考えた。

【午後の部】

◆参加者全体アンケートでアイスブレイキング

◎目指す社会を築くため、それを促進するものと阻むものを分析し、達成のプロセスを考える素材とする

→それぞれの問いに対し、該当する3つ、または4つの回答の位置に移動する

①住んでいるところは？

1. 名古屋市内 2. 愛知県内 3. 愛知県外

②生活圏は？

1. 名古屋市内 2. 愛知県内 3. 県外

③本日、参加の動機

1. TPP そのものを知る 2. TPP が地域に与える影響
3. TPP をきっかけに自立を考えたい 4. その他

④前出の「個人や世帯間、地域間、国家間の格差や環境負荷が増大していく社会」とらえた現状を危機と捉えた時、そう感じる時はいつ？

1. 買い物の時 2. 勤め先にいるとき 3. その他

◆自立を目指して ～力の分析

◎目指す社会を築くため、それを促進するものと阻むものを分析し、達成のプロセスを考える素材とする

・午前中で確認したこの講座が目標とすることと、自己紹介のテーマとした社会の現状を確認し、目標の達成を促進すること、阻害すること示した「力の分析」という図をグループで作成する

【目標】 食、エネルギー、水、カネ、支え合いが地域で循環し、循環を構成するそれぞれが生業となる社会

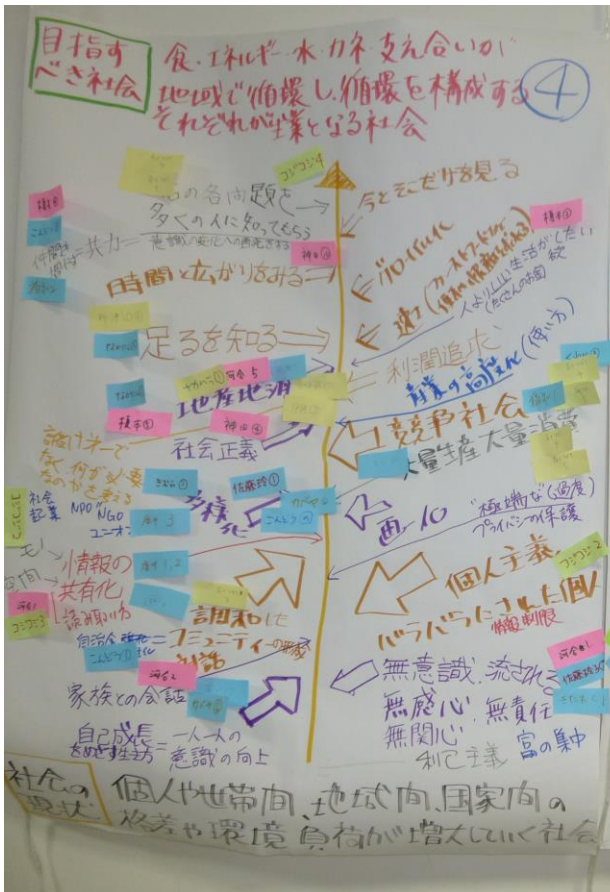
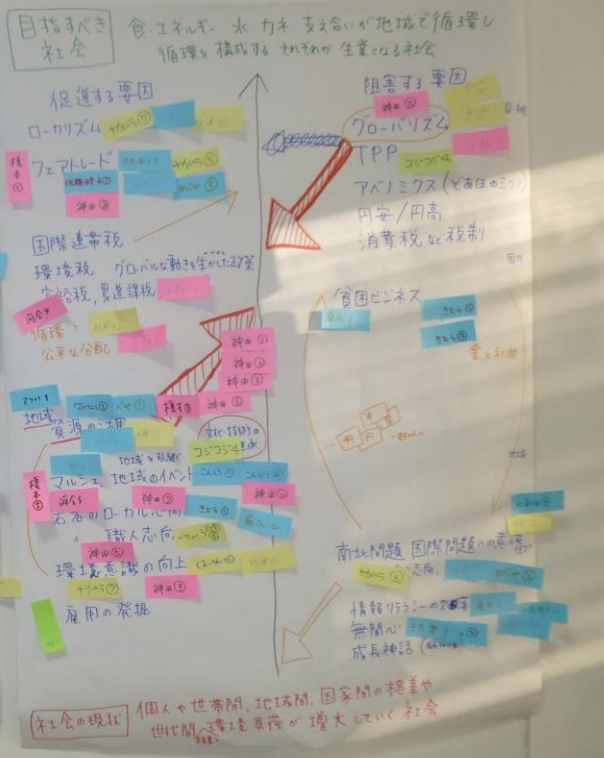
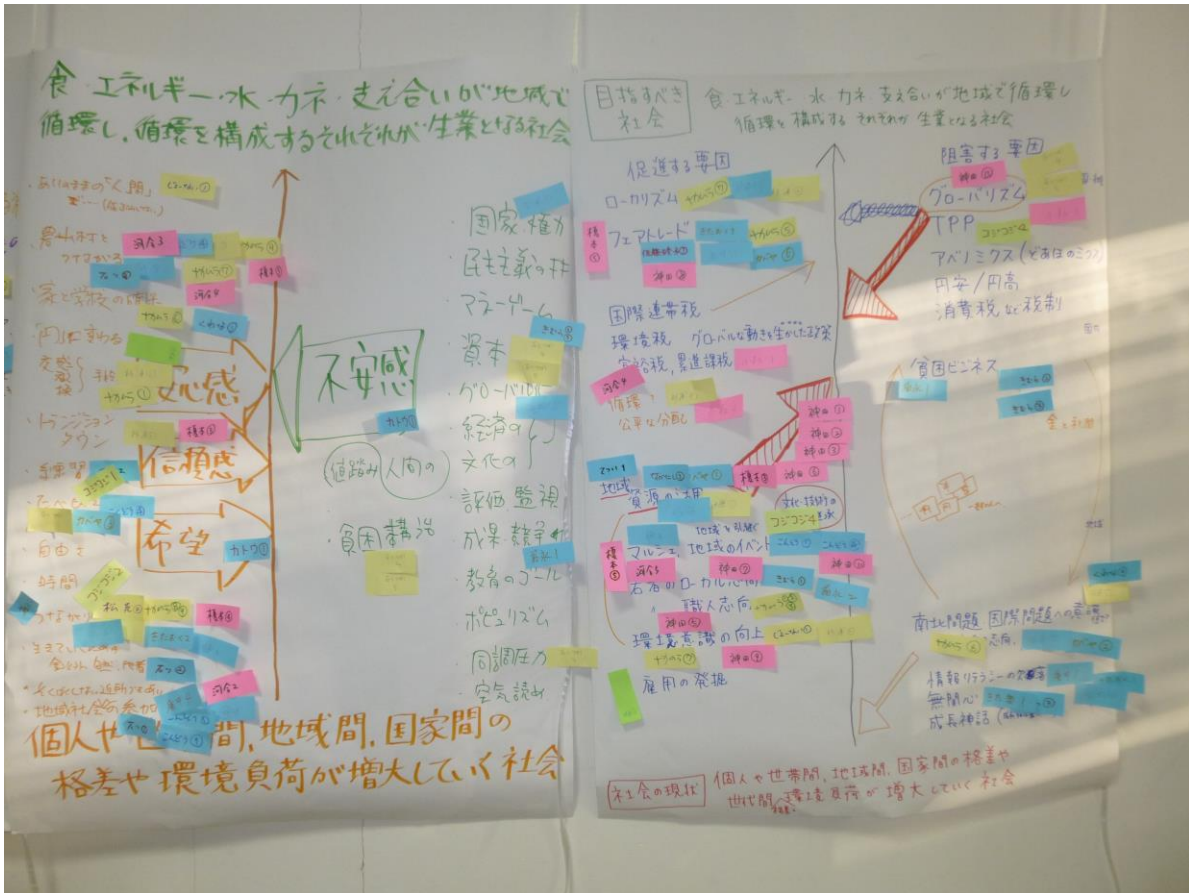
【現状】 個人や世帯間、地域間、国家間の格差や環境負荷が増大していく社会

・力の分析、発表共有

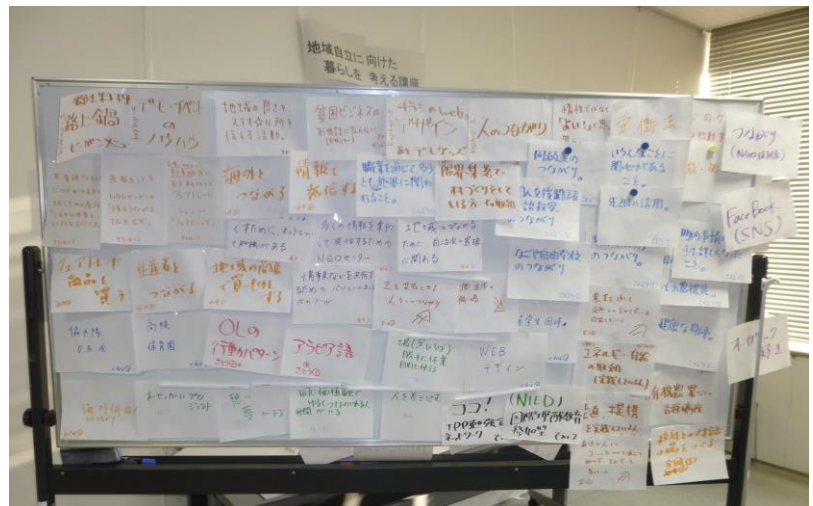
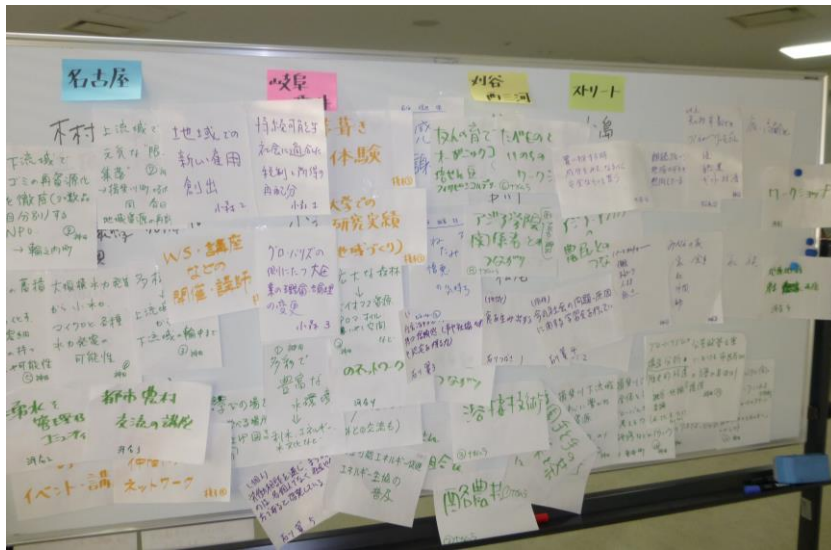
・目標達成のために、自らの持てるもの、地域の持てるもの共有、自分や地域が持っていると思うことが、各グループから出された力の分析のどこに有効かを考え、該当部分にシールを貼る

・シールを貼った箇所について、どんなものを自分たちが持っているか付箋紙(A4用紙?)に書き、書いた付箋紙はボードに貼り付け、全体に発表

力の分析と目標達成に有効な自らの持てるもの、地域の持てるもの（全体図）



力の分析と目標達成に有効な自らの持てるもの、地域の持てるもの（要素）



力の分析と目標達成に有効な自らの持てるもの、地域の持てるもの（要素）

青年海外協力隊 OB 会／海外(外国人)とのつながり／生産者とのつながり／フェアトレード商品を買う／地域の商店で買い物をする／高校・保育園(職場?)／OL の行動パターン／アラビア語／留学生団体／WEB デザイン／自由に使える場(窯ひろば)／人を巻き込む力／同じ価値観で緩くつながれる仲間／重い・夢がある／おせっかいプロジェクト／志を共有できる人々とのつながり／国際理解教育・参加型的手法(NIED)／ココ！(TPP 勉強会ネットワーク)／地域とつながるために自治会と密接にかかわる／なごや自由学校とのつながり／田んぼとはたけ・少しの農機具／健康な身体／情報格差をなくすためのネットについての知識／情報共有のための PC やネット内のツール／多くの情報を集約して発信するための NGO センター／限界集落で村づくりをしている方・その取組／職場を通じて多少とも行政の政策に関われる

力の分析と目標達成に有効な自らの持てるもの、地域の持てるもの（要素）

海外とつながる／情報を発信する／産直提携を実践している人・組織／身近な人とのコミュニケーションを通じて助け合い支え合いを育てていく／エネルギー自給の取り組み(実践している人)／農業を通じての自然との分かち合いを目指していく／人とのつながり／チラシや web のデザイン／デモグッズ／情性ではなく「よい！」と思ったものを買う／心のケア→行動する力／オーガニック好き／Facebook(SNS)／つながり(NGO 関係)／労働法／地域の良さ・ステキなところを伝える活動／貧困ビジネスのお世話にならない(応援しない)ようにガンバル／外国人支援関係者・日本語教室のつながり／同級生とのつながり／先祖の信用／いろんなことに興味があること／取材・発信力／お買い物という行動力の先にあることを伝えるフェアトレードショップ「フェアビーンズ」／不条理な社会について自らの意見を持つための座談会「これからの世界をよくするための会(KSY)」／デモ・イベントのノウハウ／郷土料理路上鍋・ビーガンメニュー／連帯をつくる NGO センター「横のつながり拡大会議」／有機農業などの各種講座／政府との対話の場をつくる／町内事情に少し詳しくなったこと／防災ボランティアのつながり／揖斐川下流域を中心に豊かな水産資源(蛤・蜆・鮎)／常識に抗う勇氣／今の社会の問題・原因に関する学習会を行っている／農業技術／酪農技術／地主さん・森林組合長／溶接技術／つながり／だらだらおしゃべり／ネパール／知的障害施設／畜産業界／農園手と手の野菜とお茶／YMCA 農村青年塾とのつながり／食を産み出す環境／社会活動を行う各種団体の持つ信頼感(市や社協の後援や認定を得る力)／アジア・アフリカの農民とのつながり／アジア学院関係者(国内外 NGO・農民)とのつながり／感謝の気持ち／たべものといのちのワークショップ／友人が育てているオーガニックコーヒー／再生可能エネルギー促進・エネルギー生協の普及／労働相談を通じた啓発(間違っているのは社会や会社)／モデル農業を増やす(海外との交流も)／学びの場を増やす・学べる場を拡大し知識の底上げ／揖斐川(西濃)のネットワーク／多彩で豊富な水環境(利水・エネルギー・水環境)／広大な森林(バイオマス資源・アロマオイル・癒し空間)／茅葺き体験／大学での研究実績／地域づくりの仲間のネットワーク／泉京・垂井のイベント・講座／都市農村交流の講座／湧水を管理するコミュニティー／多様で広大な田畑(上流域の棚田から下流域の輪中まで)／WS・講座などの開催・講師／上流域での元気な“元気な限界集落”(揖斐川坂内諸家・春日など地域資源の再評価)／大規模水力発電から小水力マイクロ各種水力発電の可能性／製造業の蓄積(下請けと化す小規模・零細事業者の持つ技能や可能性)／地域での新たな雇用／フェアトレードタウン垂井を目指す恒例イベントと素敵な仲間たち／下流域でごみの再資源化を徹底分別する(30 数品目)NPO・輪之内町／ワークショップ／地元知多半島でのつながり(種・自然農・岐阜と経済)／パーマカルチャー(情報・ネットワーク・人材・拠点)／みんなの家(家・食事・森・仲間・師)／買い物をするとき成分を見て安全なものを買う／地域のデイサービスいもん(朗読グループ)／家族／地産地消をテーマにしたイベントの開催(アースデイいびがわ)／揖斐川流域ワークショップ・研修などのノウハウ／流域 NPO 間のネットワーク／地産地消農家・お店／公共政策立案における市民参加の方策・具体例／グローバリズムの構造分析・歴史的経緯の講座・ワークショップ(水・エビ・木・アイスクリームなど)

◆今後の講座計画

◎「力の分析」と「自らの持てるもの、それぞれの持てるもの」を参考に、2014年度のTPP自主勉強会の講座カリキュラムを作成する

※グループで作ったカリキュラム案は、別ファイル参照

◆次回日程調整

・次回は2月10日の企画MTGで2014年度の講座スケジュールを大まかに確定する

◆17:00(?)原状復帰、撤収

以上